

第3回広島県 U15 バスケットボール選手権大会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン

1 参加するすべての方々へ 参加する皆様には、以下の項目を遵守していただきます。

- (1) 各チームは、チーム内に感染防止対策責任者をおき、チーム内の感染防止に努めるとともに、すぐに連絡が取れるようにしておく。
- (2) 1週間前から起床時の自宅での検温を行い、「健康チェックシート」に記入の上、本部に提出する。
- (3) 競技中以外はマスク着用をする。競技中もスポーツマスク等の着用を推奨する。
試合後の対戦チーム、審判、TO への挨拶は、すべて行わないこと。
- (4) 体調管理の徹底をする。
→熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合は参加しないこと。また、それ以外に、以下の項目に当てはまる方は参加をしないこと。
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ④ 嗅覚、味覚の異常
 - ⑤ 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
 - ⑥ 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる
 - ⑦ 直近2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (5) 声を出しての応援は自粛する。ベンチの指導者は、マスクをずらしての指示を禁止する。
- (6) 選手は、試合開始予定時間の1時間前から入館できる。
- (7) 保護者は、試合開始予定時間の30分前から入館できる。
自チームの試合だけ、観戦できる。試合終了後、速やかに退館すること。
「来場者体調記録表」を1日ごと記入し、チームでまとめて提出すること。
- (8) 外靴はビニール袋に入れ、各自管理する。

2 大会参加の可否判断について

- ① 大会開催前または開催中、ベンチメンバーに体調不良者が発生した場合の対応は、以下の通りとする。
 - ア) 医療機関を受診し、PCR 検査等を受け、医師の診断を受けることとする。
その際、**陽性が確認された場合は、ベンチメンバー全員が PCR 検査等を受け、陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
結果が出るまで時間がない場合は、チームまたは各自で「体外診断用医療品」と記された抗原検査キットで、検査する。結果は、名前と日付を書き、メーカー名が分かる外箱や袋もスマートフォンなどで撮影する。チーム代表者は、必ず確認をすること。**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
 - イ) 複数の陽性者が発生し、チーム内でのクラスターが疑われる場合は、チームの参加を辞退すること。
 - ウ) 上記ア・イが発生した場合は速やかに U15 部会長に連絡し対応の指導を仰ぐ。

- ② 大会開催中、対戦相手に陽性者が判明した場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) チームまたは各自で「体外診断用医療品」と記された抗原検査キットで、検査する。結果は、名前と日付を書き、メーカー名が分かる外箱や袋もスマートフォンなどで撮影する。チーム代表者は、必ず確認をすること。**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
 - イ) 複数の陽性者が発生し、チーム内でのクラスターが疑われる場合は、チームの参加を辞退すること。
 - ウ) 上記ア・イが発生した場合は速やかに U15 部会長に連絡し対応の指導を仰ぐ。

- ③ 大会開催後に陽性者が判明した場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) 大会参加後 5 日以内に、参加チーム及び関係者から新型コロナウイルスの感染が発覚した際は、当該チーム及び関係者は U15 部会長に連絡する。

- ④ 抗原検査キットについては、各チームまたは各自が事前に準備しておくこと。

※上記は【第 5 2 回全国中学校バスケットボール大会感染症ガイドライン】を参照。